

日本キャリアデザイン学会

2012 年度総会 配付資料

日 時 2012 年 9 月 15 日(土) 15:30～16:20 (終了予定)

会 場 東北学院大学 土樋キャンパス 5F 押川記念ホール

司会 谷田部 光一

－ 次 第 －

1. 開会の辞

2. 主宰校挨拶 東北学院大学 星宮 望 学長

3. 議長選出

4. 事業報告

- ・ 2011 年度事業報告 . . . (資料 1)
- ・ 2011 年度活動日誌 . . . (資料 2)

5. 議決事項

- | | | |
|---------|-----------------|--------------|
| 第 1 号議案 | 2011 年度決算承認の件 | . . . (資料 3) |
| 第 2 号議案 | 学会規約改正承認の件 | . . . (資料 4) |
| 第 3 号議案 | 新役員承認の件 | . . . (別添資料) |
| 第 4 号議案 | 2012 年度事業計画承認の件 | . . . (資料 5) |
| 第 5 号議案 | 2012 年度予算承認の件 | . . . (資料 6) |

5. 報告事項

- ・ 2013 年度 第 10 回記念研究大会・総会の件

6. 新役員紹介

7. 閉会の辞

以上

※引き続き、「キャリア政策研究・国際交流委員会」からの特別報告、新会長講演がございます。

《資料1》 2011 年度事業報告

1. 会員数の推移

正会員は昨年より 33 名増加し会員数は、1,178 名(昨年比 102.8%)となった。

会員状況		※単位:名 (2012 年 9 月 15 日現在)				
会員種別	2008 年	2009 年	2010 年	2011 年度	2012 年度	前年比
正会員	695	714	788	834	859	25
正会員(院生)	101	99	100	112	122	10
学生会員	25	25	25	25	25	0
賛助会員(個人)	126	131	136	133	131	-2
賛助会員(団体)	46	42	38	41	41	0
合 計 (人)	993	1,011	1,087	1,145	1,178	33

2. 当学会の問題意識と基本的な考え方

従来キャリアに関する問題は、個人の問題として捉えられていた。しかし、現下の経済の混乱と不確実、雇用の危機と不安定、教育の遅滞と不適応、いずれをとっても、社会構造の問題として捉えることが必要になっている。そのため、学会としても現行のキャリア政策とその結果について研究・検証を推進し、さらに学会として、キャリア政策に関して積極的な発信を行っていくことを、2012 年度に引き続き基本的な考え方とした。

2011 年度は、特に昨年 3 月 11 日に発生した東日本大震災後にフォーカスをあて、2010 年度に明らかとなった課題・問題意識に基づいて、研究大会・特別研究会の開催、会員向け継続アンケートの実施などの諸活動を行った。

3. 研究組織委員会活動

2011 年度事業計画の通り、各委員長を中心として委員会活動を推進した。その活動は以下のとおりである。

(1) 研究会企画委員会

久保田慶一委員長のもと、隔月 1 回の研究会開催を基本方針としつつ、7 回の研究会を開催した。研究会も「著者と語るシリーズ」などのテーマによりシリーズ化した。また、若手研究者の育成支援の場として、修士論文・博士論文発表会を開催した。なお、キャリアに関っている方による勉強会の開催などによる、会員交流の活性化は具体化まではいかなかった。

(2) 研究誌編集委員会

脇坂明委員長のもと、研究誌『キャリアデザイン研究 Vol.8』を 9 月 10 日に発行した。投稿論文等の数は 36 件となり、審査の結果 19 件の論文等を掲載するにいった。なお、研究誌(バックナンバー含む)の電子図書館化は、依然模索段階である。

(3) 広報委員会

堀内泰利委員長より示された方針により、従来どおり月 1 回のニュースレターの発行を行った。また、会員の拡大・組織化を図る活動についても、検討を継続している。

(4) キャリア政策研究・国際交流委員会

昨年の3月11日に発生した東日本大震災によって生じた、キャリア支援に関する諸課題を研究するために、2010年度の問題意識を基に活動計画を立て、3回の特別研究会を開催すると共に、継続アンケートを実施し1年経過後の意識の変化を分析した。

当研究大会でその結果報告を行う。

(5) キャリアデザイン（研究）ハンドブック（仮称）編集委員会

川崎友嗣委員長のもと、ハンドブックの編集コンセプトおよび委員会の組織化について一部着手した。

4. 地域活動

関西支部は中村恵副会長を、その他の地域は鹿嶋研之助副会長を担当理事とし、地域活動を推進した。

(1) 関西支部

中村恵副会長・支部長のもと、「連続性のあるキャリア形成支援を考える」をテーマに、関西支部研究会を開催した。

(2) 中京支部

金井篤子支部長のもと、「小学校段階からのキャリア教育～小学生に何をどう身につけさせるのか～」をテーマに中京支部研究会を開催した。

5. その他の活動

2010年度に引き続き、会員サービスの向上を念頭に置きつつ、会員の積極的な参加を促進し、役員と会員の協働によって諸活動を推進するための、方策の検討に着手した。

(1) 質的向上のための調査・情報収集

キャリアデザイン・プロフェッショナルの質的向上へ資するための活動として計画したが、実態調査、情報収集の方法についての活動方針の検討に留まった。

(2) 自主研究の支援・実践事例の収集

2011年度も引き続き、奨励研究を公募した。9件の応募があり、審査の結果、次の2件の研究に対して研究奨励金の交付が決定した。

氏名	共同研究者	テーマ	部門
高橋保幸		社会環境とキャリアデザイン ー東日本大震災の被災地におけるキャリアデザインに着目してー	テーマ
松高政	西條秀俊 三橋明弘 長尾繁樹 勝又あずさ 喜多泰子	産学が協働するキャリア教育プログラムのモデル構築	自由テーマ

(3) 会員業績目録の作成

会員相互の研究活動の支援・情報交換に資するための、ホームページを利用した会員業績目録のデータベース化について、個人情報保護の観点からセキュリティ管理の徹底を目指して検討を続けてきたが、パスワードによる管理システムの実現可能性が確認された。

(4) 他学会等との連携

キャリアに関する研究活動を行っている学会、研究機関、メディア等と連携した研究活動については、具体的な活動には至らなかった。

(5) 会員アンケートの実施

2011年度の目標である一般会員参加型活動を促進するために、会員が当学会に対して望んでいる諸活動についてアンケートを実施し、2012年度の当学会の事業活動を検討する際の参考とした。

6. 決算は、ほぼ予算どおりで処理ができた。

《資料 2》 2011 年度（平成 23 年度）活動日誌

行事等	日付	主な内容	場所
研究会企画委員会	平成 23 年 10 月 13 日	第 1 回研究会企画委員会 第 7 回研究大会を振り返って、研究会の計画について、その他	法政大学
ニュースレター	平成 23 年 10 月 17 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 85 号	
常務理事会	平成 23 年 11 月 5 日	第 1 回常務理事会・委員長合同会議 議 題 第 8 回研究大会の総括と第 9 回研究大会に向けて、2011 年度の活動計画について、その他	ビジョンセンター日本橋
キャリア政策研究・国際交流委員会	平成 23 年 11 月 5 日	キャリア政策研究・国際交流委員会、研究会企画委員会 共催 特別研究会「東日本大震災後のキャリアデザインについて考える(1)」 「東日本大震災・被災地での CFW (Cash For Work) の取り組み」 関西大学 永松伸吾氏	ビジョンセンター日本橋
ニュースレター	平成 23 年 11 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 86 号	
研究会企画委員会	平成 23 年 11 月 24 日	第 2 回研究会企画委員会(専門委員会) 第 9 回研究大会について、その他	法政大学
研究会	平成 23 年 11 月 26 日	第 37 回研究会 「経営グローバル化に向けた人材の採用と育成ー日本山村硝子の事例から」 日本山村硝子株式会社 渡邊悦子氏	学士会館
キャリア政策研究・国際交流委員会	平成 23 年 11 月 30 日	第 1 回キャリア政策研究・国際交流委員会 新規委員について、今後の活動について、その他	法政大学
研究会企画委員会	平成 23 年 12 月 7 日	第 3 回研究会企画委員会 第 9 回研究大会について、その他	法政大学
研究会	平成 23 年 12 月 10 日	第 38 回研究会 著者と語るシリーズ(4) 『キャリア社会学序説』 法政大学 佐藤厚氏	法政大学
関西支部	平成 23 年 12 月 10 日	関西支部 第 14 回研究会 「連続性のあるキャリア形成支援を考える」 ①京都市教育委員会京都まなびの街生き方探究館 松本高宜氏、②京都市立修学院中学校 秦和之氏	京都まなびの街生き方探究館
ニュースレター	平成 23 年 12 月 16 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 87 号	
常務理事会	平成 23 年 12 月 17 日	第 2 回常務理事会・委員長合同会議 第 9 回研究大会について、今年度の活動計画について、各委員会報告、その他	学士会館
研究会企画委員会	平成 24 年 1 月 5 日	第 4 回研究会企画委員会(専門委員会) 第 9 回研究大会について、その他	山王パークタワー
ニュースレター	平成 24 年 1 月 16 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 88 号	

キャリア政策研究・国際交流委員会	平成 24 年 1 月 25 日	第 2 回キャリア政策研究・国際交流委員会活動計画案について、その他	法政大学
研究会企画委員会	平成 24 年 1 月 25 日	第 5 回研究会企画委員会 第 9 回研究大会について、その他	法政大学
研究誌編集委員会	平成 24 年 1 月 31 日	第 1 回研究誌編集委員会	法政大学
研究会	平成 24 年 2 月 4 日	第 39 回研究会 「カタリバ11年の軌跡～設立から高校生との『カタリバ』、そして、被災地での教育支援へ～」 NPOカタリバ代表理事 今村久美氏	法政大学
ニュースレター	平成 24 年 2 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 89 号	
キャリア政策研究・国際交流委員会	平成 24 年 2 月 25 日	第 3 回 キャリア政策研究・国際交流委員会 現在のキャリア政策研究活動進捗状況および今後のテーマについて、その他	法政大学
キャリア政策研究・国際交流委員会	平成 24 年 2 月 25 日	キャリア政策研究・国際交流委員会 特別研究会 東日本大震災後のキャリアデザインについて考える(2) 「フクシマは今 一企業・家族・若者・市民の模索と活動」 ジャーナリスト 藍原寛子氏	法政大学
メールマガジン	平成 24 年 2 月 27 日	キャリアデザインマガジン 第 105 号 発行	
中京支部	平成 24 年 3 月 10 日	中京支部 第 1 回研究会 「小学校段階からのキャリア教育～小学生に何をどう身につけさせるのか～」 愛知教育大学 高綱陸美氏	椋山女学園大学
ニュースレター	平成 24 年 3 月 15 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 90 号	
研究会	平成 24 年 3 月 24 日	第 40 回研究会 著者と語るシリーズ(4) 『ストレスは捨てられる』 グローバル・エクセレンス 田中ちひろ氏	法政大学
キャリア政策研究・国際交流委員会	平成 24 年 3 月 31 日	第 4 回 キャリア政策研究・国際交流委員会 東日本大震災後のキャリア支援に関する継続調査について、その他	法政大学
研究会企画委員会	平成 24 年 4 月 14 日	第 6 回研究会企画委員会 第 9 回研究大会について、第 42 回研究会について、その他	法政大学
研究会	平成 24 年 4 月 14 日	第 41 回研究会 著者と語るシリーズ(5) 『「働くこと」を企業と大人にたずねたいーこれから社会へ出る人のための仕事の物語』 新日鉄ソリューションズ株式会社 中澤二朗氏	法政大学
ニュースレター	平成 24 年 4 月 16 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 91 号	
キャリア政策研究・国際交流委員会	平成 24 年 5 月 11 日	第 5 回 キャリア政策研究・国際交流委員会 東日本大震災後のキャリア支援に関する継続調査について、「東日本大震災後のキャリアデザイ	法政大学

		ンについて考える(3)」について、その他	
ニュースレター	平成 24 年 5 月 16 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 92 号	
研究会	平成 24 年 5 月 26 日	第 42 回研究会 修士論文・博士論文 発表会 修士論文：沼田博子氏、博士論文：小形美樹氏・ 高橋 浩氏・山本美奈子氏	法政大学
キャリア政策研究・ 国際交流委員会	平成 24 年 6 月 6 日	第 6 回キャリア政策研究・国際交流委員会 東日本大震災後のキャリア支援に関する継続調 査について、市民公開特別研究会 「東日本大 震災後のキャリアデザインについて考える(3)」 について、その他	法政大学
常務理事会	平成 24 年 6 月 16 日	第 2 回常務理事会・委員長合同会議 第 9 回研究大会について、キャリアデザイン研究 奨励金の募集について、学会規約の改正につい て、理事選挙実施について、第 10 回記念大会実 行委員会について、委員会報告、その他	法政大学
ニュースレター	平成 24 年 6 月 18 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 93 号	
キャリア政策研究・ 国際交流委員会	平成 24 年 6 月 23 日	市民公開特別研究 東日本大震災後のキャリアデザインについて考 える(3) 「『百人百話』—故郷にとどまる 故郷を離れる それぞれの選択—」 ジャーナリスト・IWJ 代表 岩上安身氏	法政大学
キャリア政策研究・ 国際交流委員会	平成 24 年 7 月 10 日 ～8 月 31 日	「東日本大震災後のキャリア支援に関する継続 調査」実施	
ニュースレター	平成 24 年 7 月 13 日	キャリアデザイン・ニュースレター第 94 号	
研究会	平成 24 年 7 月 14 日	第 43 回研究会 著者と語るシリーズ(6)『若者は なぜ「就職」出来なくなったのか?—生き抜くた めに知っておくこと』 法政大学 児美川孝一郎氏	法政大学
事務局	平成 24 年 7 月 15 日 ～8 月 31 日	「日本キャリアデザイン学会会員対象アンケー ト(2012 年度)」実施	
キャリア政策研究・ 国際交流委員会	平成 24 年 7 月 25 日	第 7 回キャリア政策研究・国際交流委員会 東日本大震災後のキャリア支援に関する継続調 査について、市民公開特別研究会 「東日本大 震災後のキャリアデザインについて考える(3)」 について、第 9 回研究大会について、その他	法政大学
キャリア政策研究・ 国際交流委員会	平成 24 年 8 月 21 日	第 8 回キャリア政策研究・国際交流委員会 東日本大震災後のキャリア支援に関する継続調 査について、第 9 回研究大会について、その他	法政大学
役員選任会議	平成 24 年 9 月 1 日	会長選出、2010 年度活動方針、その他	法政大学
研究誌	平成 24 年 9 月 10 日	研究誌 Vol. 1.8 発行	
常務理事会	平成 24 年 9 月 11 日	第 9 回研究大会について、2011 年度決算・事業報 告について、学会規約の改正について、その他	法政大学

《資料3》 2011年度決算報告書（仮）

※9月30日が決算日ですが、下記は2012年8月31日現在の貸借対照表・収支計算書となっております。確定したものはホームページに掲載いたします。）

日本キャリアデザイン学会2011年度収支計算書(2011/8/31現在)
2011年10月1日～2012年9月30日

科 目 別	8/31現在	9月予定分 (概算)	決算見込	予算額	決算見込-予算
Ⅰ. 収入の部					
会費収入	8,279,000	100,000	8,379,000	9,300,000	-1,021,000
大会会費収入	2,934,900	200,000	3,134,900	4,500,000	-1,565,100
①日本大学大会	1,991,600	0	1,991,600		
②東北学院大会	943,300	200,000	1,143,300		
研究会参加費収入	245,000		245,000	250,000	-5,000
研究誌等販売収入	139,900		139,900	150,000	-10,100
関西支部収入	194,300		194,300	150,000	44,300
中京支部収入	0		0	100,000	-100,000
地域活動収入	156,000		156,000	0	156,000
その他事業収入	0		0	80,000	-80,000
受取利息	472		472	1,000	-528
当期収入計（A）	11,949,572	300,000	12,249,572	14,531,000	-2,581,428
前期繰越資金	5,230,712		5,230,712	5,230,712	0
収入合計（B）	17,180,284	300,000	17,480,284	19,761,712	-2,581,428

科 目 別	8/31現在	9月予定分 (概算)	決算見込	予算額	決算見込-予算
Ⅱ. 支出の部					
大会関連支出	3,048,998	2,300,000	5,348,998	5,000,000	348,998
①日本大学大会	2,467,892		2,467,892		2,467,892
②東北学院大会	581,106	2,300,000	2,881,106		2,881,106
関西支部支出	119,300		119,300	500,000	-380,700
中京支部支出	178,600		178,600	500,000	-321,400
地域活動費支出	173,845		173,845	400,000	-226,155
業務委託費	2,145,000	195,000	2,340,000	2,500,000	-160,000
広告宣伝費	415,800		415,800	700,000	-284,200
旅費交通費	333,530	100,000	433,530	200,000	233,530
通信費・運賃	520,774		520,774	750,000	-229,226
諸謝金	241,109		241,109	300,000	-58,891
会合費	195,757	50,000	245,757	250,000	-4,243
消耗品費	143,850		143,850	200,000	-56,150
印刷費	1,837,080		1,837,080	2,200,000	-362,920
支払手数料	251,464	50,000	301,464	300,000	1,464
諸会費	0	90,000	90,000	200,000	-110,000
研究助成費	0		0	300,000	-300,000
予備費・雑費	14,000	200,000	214,000	231,000	-17,000
当期支出計（C）	9,619,107	2,985,000	12,604,107	14,531,000	-1,926,893
当期収支差額（A）-（C）	2,330,465		-354,535	0	-354,535
次期繰越資金（B）-（C）	7,561,177		4,876,177	5,230,712	-354,535

日本キャリアデザイン学会2011年度決算書（2012/8/31現在暫定）

貸 借 対 照 表

2012年8月31日現在

資産・負債別／科目				備 考
資 産 の 部	流動資産	普通本口(三菱東京UFJ)	5, 808, 240	
		普通大会口(三菱東京UFJ)	961, 327	
		普通関西大会口	435, 173	
		郵便貯金	78, 917	
		前渡金	0	
		前払費用	242, 550	
		仮払金	18, 800	
		流動資産合計	7, 545, 007	
	資 産 合 計		7, 545, 007	
負 債 の 部	流動負債	未払金	115, 500	
		前受金	0	
		預かり金	33, 330	
		仮受金	0	
		流動負債合計	148, 830	
	負 債 合 計		148, 830	
正 味 財 産 の 部			7, 396, 177	
負債及正味財産合計			7, 545, 007	

監 査 報 告 書

日本キャリアデザイン学会

会 長 川喜多 喬 殿

当学会の 2011 年 10 月 1 日から 2012 年 8 月 31 日までの収支報告書及び 2011 年 8 月 31 日現在の貸借対照表は、法令に従い当学会の状況を正しく示しているものと認めます。

なお、本年度は総会期日が 9 月 15 日であるため、決算確定後に改めて監査の上、ご報告いたします。

2012 年 9 月 15 日

監事・公認会計士 平野 毅

《資料 4》 学会規約改正(案)

改正案	現 行																														
(役員) 第 10 条 本会に次の役員を置く。 <table> <tr> <td>会 長</td><td>1 名</td></tr> <tr> <td>副会長</td><td>3 名</td></tr> <tr> <td>常務理事</td><td>5 名以内</td></tr> <tr> <td>理 事</td><td>20 名以内</td></tr> <tr> <td>事務局長</td><td>1 名</td></tr> <tr> <td>事務局次長</td><td>1 名</td></tr> <tr> <td>研究組織委員</td><td>若干名</td></tr> <tr> <td>監 事</td><td>2 名以内</td></tr> </table> 2 本会に、顧問を置くことができる (役員の選任と要件) 第 11 条 役員については次のようにして選任する。なお選出の詳細規定は別途定める。 1 理事及び監事は、正会員の互選による。 2 会長、副会長及び常務理事は、理事の互選による。 3 事務局長及び事務局次長は、正会員のうちから会長が指名する。 4 研究組織委員は、正会員のうちから理事会が指名する。 (役員の職務) 第 12 条 会長は、本会の業務を総理し、本会を代表する。 2 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時は会長を代行する。 3 理事は、理事会を組織し、この規約に別に定めるもののほか、総会の権限に属する事項以外の事項を議決し、執行する。事業計画を策定し、予算・決算書を作成する。 4 常務理事は常務理事会を組織し、理事会の議決に基づき、本会の通常の業務を処理する。 5 監事は、本会業務及び財務状況を監査し、総会に報告する。 6 事務局長は、会長の指示により本会の日常の事	会 長	1 名	副会長	3 名	常務理事	5 名以内	理 事	20 名以内	事務局長	1 名	事務局次長	1 名	研究組織委員	若干名	監 事	2 名以内	(役員) 第 10 条 本会に次の役員を置く。 <table> <tr> <td>会 長</td><td>1 名</td></tr> <tr> <td>副会長</td><td>3 名</td></tr> <tr> <td>常務理事</td><td>5 名以内</td></tr> <tr> <td>理 事</td><td>20 名以内</td></tr> <tr> <td>事務局長</td><td>1 名</td></tr> <tr> <td>研究組織委員</td><td>若干名</td></tr> <tr> <td>監 事</td><td>2 名以内</td></tr> </table> 2 本会に、顧問を置くことができる (役員の選任と要件) 第 11 条 役員については次のようにして選任する。なお選出の詳細規定は別途定める。 1 理事及び監事は、正会員の互選による。 2 会長、副会長及び常務理事は、理事の互選による。 3 事務局長は、正会員のうちから会長が指名する。 4 研究組織委員は、正会員のうちから理事会が指名する。 (役員の職務) 第 12 条 会長は、本会の業務を総理し、本会を代表する。 2 副会長は、会長を補佐し会長に事故ある時は会長を代行する。 3 理事は、理事会を組織し、この規約に別に定めるもののほか、総会の権限に属する事項以外の事項を議決し、執行する。事業計画を策定し、予算・決算書を作成する。 4 常務理事は常務理事会を組織し、理事会の議決に基づき、本会の通常の業務を処理する。 5 監事は、本会業務及び財務状況を監査し、総会に報告する。 6 事務局長は、会長の指示により本会の日常の事	会 長	1 名	副会長	3 名	常務理事	5 名以内	理 事	20 名以内	事務局長	1 名	研究組織委員	若干名	監 事	2 名以内
会 長	1 名																														
副会長	3 名																														
常務理事	5 名以内																														
理 事	20 名以内																														
事務局長	1 名																														
事務局次長	1 名																														
研究組織委員	若干名																														
監 事	2 名以内																														
会 長	1 名																														
副会長	3 名																														
常務理事	5 名以内																														
理 事	20 名以内																														
事務局長	1 名																														
研究組織委員	若干名																														
監 事	2 名以内																														

務を処理する。 <u>7 事務局次長は、事務局長を補佐し本会の日常の事務を分掌する。</u> <u>8 研究組織委員は、研究会・研修会・講演会の組織など紙誌・情報の編集、大会その他の事業の運営、その他の調査研究活動の組織に当たる。</u> 附 則 1. この規約は、学会の設立大会である 2004 年 9 月 25 日以降より施行する。 2. 第 13 条 2 項の規定は 2006 年度総会より<u>施行</u>する。 2004 年 9 月 25 日制定 2005 年 10 月 1 日改定 2006 年 10 月 28 日改定 3. 第 10 条の規定は 2010 年度総会より<u>施行</u>する。 2010 年 10 月 23 日改定 4. 第 5 条の規定改定は 2011 年度総会より施行する。 5. 第 12 条の規定改定は 2011 年度総会より施行する。 2011 年 10 月 1 日改定 <u>6. 第 10 条、第 11 条及び第 12 条の規定改定は 2012 年度総会より施行する。</u> 2012 年 9 月 15 日改定	務を処理する。 <u>7 研究組織委員は、研究会・研修会・講演会の組織など紙誌・情報の編集、大会その他の事業の運営、その他の調査研究活動の組織に当たる。</u> 附 則 1. この規約は、学会の設立大会である 2004 年 9 月 25 日以降より施行する。 2. 第 13 条 2 項の規定は 2006 年度総会より発効する。 2004 年 9 月 25 日制定 2005 年 10 月 1 日改定 2006 年 10 月 28 日改定 3. 第 10 条の規定は 2010 年度総会より発効する。 2010 年 10 月 23 日改定 4. 第 5 条の規定改定は 2011 年度総会より施行する。 5. 第 12 条の規定改定は 2011 年度総会より施行する。 2011 年 10 月 1 日改定
--	--

《資料 5》 2012 年度事業計画(案)

1. 当学会の問題意識と基本的な考え方

学会設立時には、キャリアデザインという言葉はむしろ、キャリアという言葉すら、もの珍しかった。今日、学校や事業組織、政府自治体の政策などに、キャリアデザインという言葉は広汎に使われるに至っている。しかし、その意味は多岐にわたっており、学会としての用語を定義するなど、キャリアに関する基礎研究を推進する必要がある。

2. 今期および中期的活動計画

2012 年度は第 10 回記念大会を、また 2013 年度は学会設立 10 周年を迎える。当学会としてはこの 2 年間で、これまでの 10 年間の活動を振り返り、次の 10 年間を見据え中期的研究活動・社会的活動・地域活動の各方針を定める年と位置づける。

日本人のキャリアはどう変わったか、当学会として取り組んできた研究の結果、解決したもの、積み残したものは何かを明らかにしたい。そして、役員による勉強会、会員相互の勉強会等を実施しながら、問題意識を深め共有し、学会の次の展開を目指したい。

(1) 研究組織委員会の活動

2011 年度実施した会員アンケートを参考にし、第 10 回記念大会・学会設立 10 周年を視野に入れながら、各委員長を中心として活動を行う。

なお、委員と会員の協働によって諸活動を推進できるよう、会員参加のさまざまな形を模索・試行したい。

①研究会企画委員会

従来どおり、隔月 1 回の研究会開催を基本として、タイムリーな企画があれば適宜開催する。また、2013 年度大会を東京の大学において開催する。会員アンケート結果で要望の強かったワークショップ、テーマ別研究会などについても、一般会員の協力を得て開催し、会員交流の活性化を促進したい。

②研究誌編集委員会

現在年 1 回発行している研究誌を今後も継続して発行する。また、引き続き、研究誌のバックナンバーについても、電子図書館化を模索していきたい。

③広報委員会

従来どおり毎月 1 回のニュースレターを発行する。加えて隔月 1 回程度のメールマガジンを発行するとともに、会員相互の交流を促進するホームページのあり方を検討したい。

④キャリア政策研究・国際交流委員会

文部科学省、厚生労働省、経済産業省等の推進するキャリア政策の検証・評価を行うと共に、国際的なキャリア政策の動向を調査・研究し、学会としてのキャリア政策を提言するための研究活動の着手を、2012 年度の目標とする。

なお、2010～2011 年度に実施した東日本大震災に関する研究活動の成果は、講演録等を含めた報告書にまとめる予定である。また、キャリア支援者の専門性を高めるための取組み、例えば被災地でのワークショップなども、学会としての実施を検討したい。

⑤キャリアデザイン（研究）ハンドブック（仮称）編集委員会

基礎研究を推進するために、用語解説、研究（研究者）史、文献目録、技法、事例などの総合ハンドブックの発行を、第10回記念大会及び10周年記念事業との関連のなかで検討していきたい。

(2) 地域活動

支部担当副会長を置き、各支部長と連携を図りながら各支部主催の研究会の推進、地域の会員との交流会を開催したい。

(3) その他の活動

①第10回記念大会・10周年記念事業委員会（仮）の設置

第10回記念大会・10周年記念事業の一環として、教育・経済・企業活動など、この10年にキャリアに関する諸領域で起こったことを年表にまとめ、基礎的・客観的事実を整理するなどの方法により、キャリアの基礎的研究を促進したい。

併せて、主に当学会で蓄積してきた研究も踏まえ、キャリアにおける今日的課題を抽出し、学会の今後の研究活動方針を策定したい。

また、当学会の研究会・研究誌・広報活動などの諸活動を振り返り、記念誌・報告書等としてまとめたい。

なお、必要に応じて、キャリアに関する研究活動を行っている学会、研究機関、メディア等と連携した研究活動を行う。

②会員業績目録の作成

会員相互の研究活動の支援、情報交換に資するため、学会ホームページを利用した会員業績目録のデータベースの構築に着手したい。

《資料 6》 2012 年度予算(案)

日本キャリアデザイン学会2012年度予算(案)
2012年10月1日～2013年9月30日

科 目 別	2012年度 予算額	2011年度 決算見込	増減
I. 収入の部			
会費収入	8,500,000	8,379,000	121,000
大会会費収入	2,000,000	3,134,900	-1,134,900
研究会参加費収入	250,000	245,000	5,000
研究誌等販売収入	150,000	139,900	10,100
関西支部収入	250,000	194,300	55,700
地域活動収入 (中京支部含む)	100,000	156,000	-56,000
その他事業収入	0	0	0
受取利息	1,000	472	528
当期収入計 (A)	11,251,000	12,249,572	-998,572
前期繰越資金	4,876,177	5,230,712	
収入合計 (B)	16,127,177	17,480,284	-1,353,107

科 目 別	2012年度 予算額	2011年度 決算見込	増減	備考
II. 支出の部				
大会関連支出	2,500,000	5,348,998	-2,848,998	2011年度は2回開催分、2010年度は1回分
関西支部支出	500,000	119,300	380,700	
地域活動費支出(中京支部含む)	400,000	352,445	47,555	
業務委託費	2,340,000	2,340,000	0	事務局委託費
広告宣伝費	300,000	415,800	-115,800	パンフレット、広告等
旅費交通費	450,000	433,530	16,470	
通信費・運賃	1,670,000	520,774	1,149,226	ホームページリニューアル(700千)、維持管理費(400千)
諸謝金	250,000	241,109	8,891	研究会講師謝金等
会合費	200,000	245,757	-45,757	理事会、委員会開催費、会場借上げ費
消耗品費	150,000	143,850	6,150	
印刷費	1,800,000	1,837,080	-37,080	学会誌「キャリアデザイン研究」
支払手数料	300,000	301,464	-1,464	振込手数料、口座自動引落手数料
諸会費	90,000	90,000	0	
研究助成費	1,000,000	0	1,000,000	委員会特別事業費を含む
10回記念大会委員会事業費	1,000,000	0	1,000,000	
予備費・雑費	150,000	214,000	-64,000	
当期支出計 (C)	13,100,000	12,604,107	495,893	
当期収支差額 (A)-(C)	-1,849,000	-354,535		
次期繰越資金 (B)-(C)	3,027,177	4,876,177	-1,849,000	

－お問い合わせ－

日本キャリアデザイン学会

〒102-8160

東京都千代田区富士見 2-17-1
株式会社エイチ・ユー教育事業部内

TEL 03(3264)6129 FAX 03(3264)9568

E-mail: info@career-design.org

URL: <http://www.career-design.org>